

ウルグアイ経済報告（3 月分）

【概況】

- 3 月の消費者物価指数（対前年同月比）は 9.16%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で食料品・ノンアルコール飲料、家具・家庭用品、娯楽・文化の分野では 2 桁、それ以外の分野では 1 桁台の増加であった。
- 3 月の対ドル為替レートは平均 43.34 ペソと、前月比 13.9%のペソ安となった。
- 3 月の輸出額は 656 百万米ドルで、セルロース、木材、羊毛及び自動車部品の輸出減少に伴い、前年同月比は 8.5%減となった。一方、大豆、炭酸飲料原料、医薬品、小麦の輸出は好調であった。2020 年第 1 四半期は、国内及び輸出先国での新型コロナウイルス感染症発生による生産及びロジスティック面への影響に伴い輸出に支障が生じた。
- 3 月の輸出額第 1 位は牛肉で輸出額は 168 百万米ドル（前年同月比 2%増）となった。主要輸出先である中国への輸出は前年同月と比べ 15%以上減少したが、米国、ロシア、イスラエル、日本をはじめとするその他主要輸出国への輸出は増加した。同 2 位はセルロースで価格低下に伴い輸出額は 78 百万米ドル（前年同月比 43%減）となった。同 3 位は炭酸飲料原料で、輸出量増加に伴い輸出額は 60 百万米ドル（前年同月比 27%増）となった。主な輸出先はメキシコをはじめとする中米諸国。
- 輸出が好調であったのが大豆、医薬品である。大豆は輸出量が前年同月の 3 倍以上に増加したことに伴い、輸出額は 43 百万米ドル（前年同月比 209%増）となった。医薬品の輸出額はフリーゾーンからの輸出増加に伴い 21 百万米ドル（前年同月比 26%増）となった。
- 3 月の主要輸出先を見ると、第 1 位は中国で輸出額は 108 百万米ドル（輸出全体の 24%）となった。牛肉、木材、羊毛の輸出減少に伴い前年同月比は 24%減となるも、前月に比べると落ち込みは緩和されており回復の兆しが見えている。同 2 位はブラジルで輸出額は 75 百万米ドルとなった。ビール原料（麦芽、大麦）の輸出減少に伴い前年同月比は 21%減となったが、プラスチック、油、医薬品の輸出は増加した。同 3 位は EU で輸出額は 60 百万米ドル（前年同月比 1%増）となった。主要輸出品である牛肉（前年同月比 7%減）に加え木材、羊毛の輸出は減少したものの、牛肉製品、カリナタ（バイオ燃料の原料となる油糧種子）及び乾草の輸出は増加した。同 4 位は米国で、牛肉の輸出増加に伴い輸出額は 51 百万米ドル（前年同月比 23%増）となった。

（出典：ウルグアイ 2 1（ウルグアイ貿易投資促進庁））

【トピック】

1 政権交代

3月1日、新政権が発足しアスセナ・アルベレチェ経済財務大臣が就任。2日、アルベレチェ大臣は税関庁を訪問し新たに就任したボルギアニ税関長と会合した。4日、同大臣より経済財務省幹部が発表された。

2 経済政策

3月11日、政府は記者会見にて財政赤字改善、経済活性化、雇用創出を目的とした経済政策を発表した。今次政策には経費上昇に伴う公共料金の調整（国営衛生公社（OSE）10.7%増、国営電力公社（UTE）10.5%増、ANTEL（国営通信公社）9.78%増。なお、国際市場での価格低下に伴い石油については現状価格を維持）、カードでの支払の際の付加価値税（IVA）免税率の減少（デビットカードでの支払いについては2%（現在は4%）、レストランでのクレジットカードでの支払いの場合5%（現在は9%）とする）、農牧業関係者へのインセンティブ導入（経済活動所得税（IRAE）を納税していない牛乳、コメ、花、果物、野菜、養蜂産業者を対象に燃料購入によるIVAを返納。IRAEを納税していない牛肉、羊肉産業者については産業での使用を目的とした燃料購入に際しIVAを返納）が含まれる。

3 新型コロナウイルス感染症

(1) 国家衛生緊急事態宣言

3月13日、国内で最初の新型コロナウイルス感染が確認されると、政府は国家衛生緊急事態を宣言し、不要不急の外出の自粛要請、テレワーク推奨、公共の場で開催される全ての催し中止、観光施設の閉鎖をはじめとする感染拡大防止のための措置を講じた。結果、経済面では特に近年の経済成長の鍵であった輸出や国内需要が大きな打撃を受けた。

(2) 雇用への影響

雇用状況の悪化が継続しており1月の失業率は8.5%となった。右に加え3月後半より新型コロナウイルス感染症の影響により多くのセクターが経済的な打撃を受けた結果、失業保険申請が増加（社会保障銀行（BPS）は自らの意思に反して失業した労働者に対し失業保険を手当てしている）。3月24日の同銀行の発表によると、3月1日から23日の間に52,060件の失業保険の申請があり、うち42,087件は一時的雇用停止、4,834件は解雇、5,139件は

勤務時間の短縮によるものであった。

(3) 感染症拡大に伴う経済対策

ア 3月18日、アルベレチェ経済財務大臣は、政府は新型コロナウイルス感染症対策のための予算確保を最優先事項とする旨決定したと述べた。また、感染拡大の場合に備えて厚生省と協働して既に必要物資購入を進めている他、呼吸器、モニター購入、集中治療室の病床数増加のために多国籍機関の融資枠を利用する旨説明した。

イ 3月19日、ラカジェ・ポウ大統領は、アルベレチェ経済財務大臣をはじめとする政府閣僚同席のもと、新型コロナウイルス感染症拡大の現状及び政府の対応について説明する記者会見を開催し、失業保険の適用拡大、融資保証プログラムの拡大、税金の支払い期限延長、貸付支払い期限延長等の中小企業支援を目的とした新たな経済措置を発表した。なお、4月1日に予定されている公共料金の値上げについては延期しない旨発表され、野党のみならず連立政権内でも事態が平常に戻るまで延期すべきとの声が上がった。

(4) 医療・衛生用品輸入の際の特別規定

3月23日、経済財務省は新型コロナウイルス感染症の治療に必要な医療用マスク、体温計、呼吸器等の医療・衛生用品の輸入に際し、全ての税金免除、手続簡略化等の特別規定を設ける旨発表した。

4 為替レート

新型コロナウイルス感染症の拡大による国際市場への影響も伴い、米ドルの高騰が継続。3月9日には対前日比3.74%増と2008年9月のリーマンショック以降の最高値を記録した。同日、米ドルの対ペソ為替レートが44ペソに達すると、ウルグアイ中央銀行は17.3百万米ドルの売り介入を行った。結果、同日終わりには42.95ペソに落ち着いた。アルベレチェ経済財務大臣は、為替レートの変動は他国の市場でも発生している現象であり、急激な変動回避のために介入を行うことを念頭に、冷静に状況を注視していかねばならないと述べた。

5 経済成長率

2019年までウルグアイ経済は17年間連続で成長という歴史的記録を更新した。一方、2019年の経済成長率は0.2%と2002年以降最低値を記録した。(了)